



463号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



**11月21日(金) 10:00~10:30 第3回一時金交渉
両協会、今一時金に対する考え方を披瀝
14冬季一時金については従来通りの算式を強調**

【14冬季一時金スト権集約結果】

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全 国	冬季一時金	717	15	4	3	739
	諸要求	715	15	5	4	739
	国民的課題	707	23	5	4	739

組合はスト権の高率での確立を背景に、要求に沿った回答構築と各地域格差の是正を強く主張

【スト権集約結果】

14冬季一時金スト権について、11月18日(火)に中央集約を行った結果、全国投票総数739票中、冬季一時金要求項目で賛成717票、諸要求項目715票、国民的課題707票で、各項目において賛成票が94%以上という結果となり、左記のとおり14冬季一時金スト権を高率で確立しました。

【全日検】

11月21日(金)第3回検数労連14冬季一時金交渉で、組合は両協会に対し今一時金回答に向けた考え方を求めました。

【日検協会】

上半期収入は対予算比では微増となった。しかし、対前年比では減となっている。

【組合主張】

組合は両協会の一時金に対する考え方を聞いて、次のとおり主張を行いました。

年末年始例外荷役について、各企業内交渉で具体化

第3回14冬季一時金交渉後に行われた年末年始例外荷役について組合は、全国港湾と日本港運協会との間で取り交わした『労使政策委員会議事確認』を遵守するよう、両協会に対して主張しました。

査が一部地域で収益が下がっていたものの、概ね順調であった。損保業務については、発生的なものだが順調にきている。

全体的には収入も増えているが、その分の支出も増えている状況であり、結果的に対前年比で利益が減少している。

賞与に対する考え方として『賞与は利益の還元』である考え方は変わらない。よって、従来どおりの回答方式を構築していく考えである。

両協会に対しては、前回の基礎数字と政府発表の貿易統計を見ると、組合要求に沿った回答は可能と分析している。

全日検に対しては『役付』『特別評価』の回答は反対である事をあらためて強調する。また、調整加算などの格差回答についても是正し、見習い職員については職員A・Bと同様の算式化を求める。

日検協会に対しては、組合員の総意として、一時金本体部分への上積み重視、業績部分の圧縮と

**次回交渉：第4回 14冬季一時金交渉
11月25日(火) 14:00~
有額回答指定日！地域闘争委員及び組合員は注目せよ！**

地域格差の是正を強く求める。
以上の主張を行い、次回交渉11月25日(火)有額回答指定日を確実に交渉を終了しました。